

店舗のご案内

(平成26年11月末日現在)

店番	店名	郵便番号	所在地	電話番号	ATMご利用可能時間・機能				AED 設置店
					平日	土	日・祝	音声案内	
1	本店	288-8686	銚子市双葉町5-5	0479-25-2111	A	C	C	○	○
3	外川	288-0014	銚子市外川町2-10620-3	0479-22-5525	B	C	-	○	-
4	本城	288-0831	銚子市本城町2-183-2	0479-22-5945	B	C	-	○	-
5	橋本	288-0002	銚子市明神町1-74	0479-22-8786	A	C	C	○	-
6	松岸	288-0835	銚子市垣根町1-283	0479-22-3490	B	C	C	○	○
7	八日市場	289-2144	匝瑳市八日市場イ2461-1	0479-72-1531	A	C	C	○	○
8	飯岡	289-2705	旭市飯岡2163	0479-57-3434	B	C	C	○	-
9	船木椎柴	288-0862	銚子市高田町6-889	0479-33-1311	B	C	-	○	-
10	松尾	289-1527	山武市松尾町大堤114-4	0479-86-2421	B	C	C	○	-
11	波崎	314-0408	神栖市波崎6381-1	0479-44-0571	A	C	C	○	-
12	大原	298-0004	いすみ市大原7650-7	0470-62-1222	B	C	-	○	-
13	勝浦	299-5225	勝浦市墨名788	0470-73-0102	B	C	C	○	-
14	大多喜	298-0214	夷隅郡大多喜町新丁91-1	0470-82-2831	B	C	C	○	-
15	茂原	297-0026	茂原市茂原547	0475-22-3348	B	C	-	○	○
16	鹿島	314-0031	鹿嶋市宮中1-9-30	0299-82-4521	B	C	-	○	-
18	末広	260-0843	千葉市中央区末広2-2-7	043-265-1711	B	C	-	○	-
19	神栖	314-0112	神栖市知手中央9-9-22	0299-96-3541	A	C	C	○	○
21	東金	283-0068	東金市東岩崎6-4	0475-55-1751	B	C	C	○	○
23	清川町	288-0817	銚子市清川町4-4-7	0479-23-6111	A	C	C	○	-
24	東庄	289-0611	香取郡東庄町新宿1134-2	0478-86-2111	A	C	C	○	-
25	土合	314-0347	神栖市土合中央2-9-12	0479-48-3711	B	C	C	○	-
28	旭中央	289-2516	旭市口の832	0479-62-1011	A	C	C	○	○
29	横芝	289-1732	山武郡横芝光町横芝1502-5	0479-82-1551	B	C	C	○	-
30	海上	289-2613	旭市後草2047-5	0479-55-3211	B	C	C	○	-
31	千潟	289-2504	旭市二の6368	0479-63-8888	A	C	C	○	-
32	山田	289-0411	香取市府馬2729-3	0478-78-2611	B	C	-	○	-
33	千葉	260-0001	千葉市中央区都町3-15-1	043-231-2631	B	C	C	○	○
34	佐倉	285-0013	佐倉市海隣寺町5-11	043-485-1104	B	C	-	○	-
41	蓮沼	289-1802	山武市蓮沼口の2932-6	0475-86-4181	B	C	-	○	-

店舗外ATM	(銚子市役所)			D	-	-	○	
ATMご利用可能時間	A	8:00~21:00	B	8:00~20:00	C	8:45~17:00	D	9:00~17:00

ATM機能	お振込み	全店のATMでご利用いただけます。(お振込みには手数料がかかる場合がございます。)
	通帳繰越	全店に通帳繰越機能付ATMを設置しています。
	音声案内	全店に視覚障がい者の方にもご利用いただけるハンドセット付ATMを設置しています。

※ 店舗外ATMでのお振込みは、キャッシュカードのみのお取扱いとさせていただきます。
 ※ 店舗外ATMは、年末年始にはご利用いただけません。
 ※ 八日市場支店は、12月8日新築移転後の所在地等を記載しています。

上半期レポート 銚子信用金庫の現況

[平成26年4月1日から平成26年9月30日まで]

2014



銚子信用金庫
 〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5-5
 TEL.0479-25-2100(代表)
<http://www.choshi-shinkin.co.jp>



ごあいさつ

2014年4月から9月まで、半年間の当金庫の活動をご報告する上半期レポートをお届けいたします。さて、今年の5月に、有識者などで構成される日本創成会議から発表された提言「ストップ少子化・地方元気戦略」が国内世論に波紋を投げかけました。この中に、2040年に若年女性(20~39歳)が50%以上減少する896市町村を「消滅可能性市町村」と定義する推計データが示されていたからです。

もちろん、この推計データは、現在の状況から何の対策も講じなかった場合を前提としたものであり、今後の議論・対策を促すことがこの提言の狙いとするところでしょう。

すでに、人口減少・少子高齢化の問題は、地方の市町村において深刻な課題となっているわけですが、改めて地域の現状とその将来について真剣な議論と課題克服に向けた具体的な行動が必要とされていることを痛感しています。

限定された営業エリアで活動する信用金庫にとって、地域は「運命共同体」であり、当金庫も地域振興・地域活性化に向けた活動を業務のひとつの柱として取り組んでまいりましたが、現在、本店所在地である銚子市でも、行政、商工会議所などの地元経済団体、地元の大学、さらに私ども地域金融機関との連携は緊密さを増しており、創業支援や雇用創造などいくつかの事業が始まっているところです。

改めて、「始めようとしなければ、何も始まらない」という、至極当たり前のことを実感しているところですが、これからも、当金庫は、地域の未来は私たちの未来であることを念頭に、地域に、そしてお客さまに、「ウレシイ」と感じていただけるような活動を追及してまいります。

平成26年11月
理事長 松岡 明夫

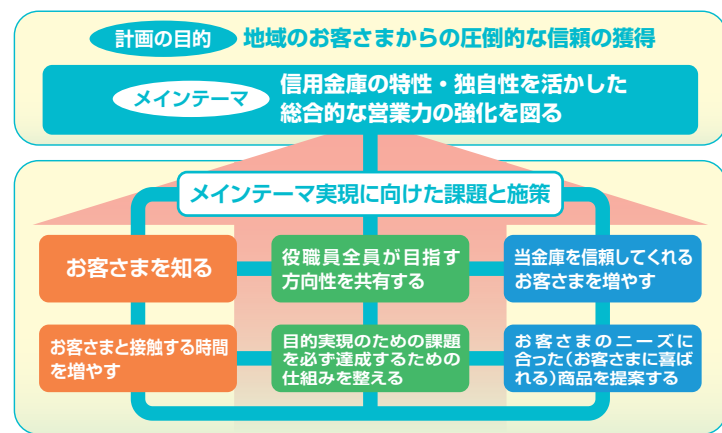


当金庫の概要

名称	銚子信用金庫
所在地	銚子市双葉町5番地の5
電話番号	0479-25-2100 (代表)
創立	明治43年7月15日
出資金	2,674百万円(普通出資金)
会員数	36,749名
店舗数	29店舗(千葉県内25店・茨城県内4店)
役員数(常勤)	433名

(平成26年9月末現在)

中期経営計画(新三か年計画)について (平成24年度~26年度)



中小企業支援・地域活性化への取組み

創業・新事業展開に関する経営相談・支援活動

● 創業支援活動

地域経済活性化に向けて、創業する方、新事業に参入する方、事業の拡大を検討している方への支援に取り組んでいます。地域金融機関として培ったノウハウを活用した支援とともに、行政や経済団体と連携した幅広い支援活動を行っています。

【銚子市との連携】

- 銚子市創業支援事業計画に創業支援事業者として参加
- 実践型地域雇用創造事業(銚子市地域雇用創造協議会)へ参加

【銚子商工会議所との連携】

- 創業セミナー・創業スクールの開催を後援
- 「銚子創業スクール・タイアップローン」の取扱開始

【日本政策金融公庫千葉支店、館山支店、水戸支店との連携】

- 新規開業希望者に対する創業機会の増加と新規開業後の継続的な支援体制の構築を目的に「新規開業者支援に関する確認書」を締結



銚子創業スクール

販路開拓・成長段階への支援活動

● 平成26年度しんきん食の商談会開催(平成26年10月23日)

千葉県内の5信用金庫(千葉信用金庫、東京ベイ信用金庫、館山信用金庫、佐原信用金庫、銚子信用金庫)の共催で、千葉県の名産品や物産品を広く千葉県内外にPRすることを目的とした、第4回目の「しんきん食の商談会」を10月23日に開催しました。

この商談会は、出展者の販路開拓支援を実現するため、商談方式も出展者が必ずバイヤーと商談が出来る時間を設定した個別商談方式と、フリー商談が可能となるブース展示方式の両方を取入れた併用方式としています。



しんきん食の商談会

経営改善支援活動

● 経営革新等支援業務

平成25年に新設した地域振興課と各営業店が連携し、中小企業のお客さまが抱える様々な課題の解決に向けた情報提供や支援活動を行っています。

また、当金庫は財務省および経済産業省より認可された経営革新等支援機関として、外部専門機関の活用や各種保証制度・補助金制度の活用について積極的に周知・提案を行っています。



経営改善計画策定研修会

地域の面的再生への積極的な参画

地域活性化事業

当金庫では地域社会の活性化に向けた活動を業務の柱のひとつとして、継続的に実施しています。

行政や経済団体、NPO法人等で構成する「銚子円卓会議」、銚子市の中心市街地の活性化を目指す民間団体「銚子中心市街地活性化研究会」との連携のほか、地域社会の発展と学術の振興に寄与することを目的とした「包括連携協定書」を千葉科学大学と締結するなど、活動の幅を広げています。

本年8月には、「みんくるプロデューサー地域診断プロジェクト2014@銚子」の現地スタッフとして参加協力しました。



みんくる地域診断

若手社員研修会(平成26年4月24日・25日)

「若手社員研修会」は、地域事業所の若手社員を対象に、ビジネスマナー・電話応対・仕事の進め方・金融経済の基礎知識などの社員教育を代行する研修会で、毎年4月に開催しています。

当研修会は今回で24回目の開催となり、これまで延べ418事業所、902名の方が受講されています。



若手社員研修会

第5期「ちょうしんきん経営塾21」開講(平成26年9月～28年8月)

企業の発展と地域経済の活性化を目指して、事業意欲の高い地元の次世代経営者を対象に、経営についての継続的な学習機会をご提供させていただいています。

平成18年7月に開講した若手経営者勉強会「ちょうしんきん経営塾21」は第1期生～第4期生まで延べ124名が卒業し、平成26年9月から会員数31名で、第5期がスタートしています。



経営塾21

地域との連携



千葉科学大学との包括連携協定書の締結



日本政策金融公庫との新規開業者支援に関する確認書の締結



振り込み詐欺撲滅キャンペーン(一日警察官)



認知症サポーターの育成

環境活動

住みよい社会を次世代に引き継いでいくため、当金庫では、環境に配慮した事業活動を行っていくことを宣言し、活動しています。

●電気自動車「日産LEAF(リーフ)」の導入

走行中CO₂排出量ゼロの電気自動車を導入しました。停電などの非常時には電源として利用できます。



●エコキャップ運動

全店の店頭にてエコキャップ回収ボックスを設置し、地域のみなさまと共にペットボトルキャップの回収運動に参加しています。

平成26年9月末現在

- 回収総数 : 4,519,503個
- ワクチン : 5,402人分
- CO₂削減 : 34,037kg



文化振興

●第37回文化講演会(平成26年11月9日)

平成26年度は、銚子市青少年文化会館を会場に、テレビ・映画・舞台のほか、「西野流呼吸法」のご講演でもご活躍の、由美かおる(ゆみ かおる)さんをお招きして、「心とからだの健康 ～西野流呼吸法～」をテーマにご講演いただきました。



社会貢献活動



海岸清掃



ヤングドライバー街頭キャンペーン



職場体験学習(小中学生対象)

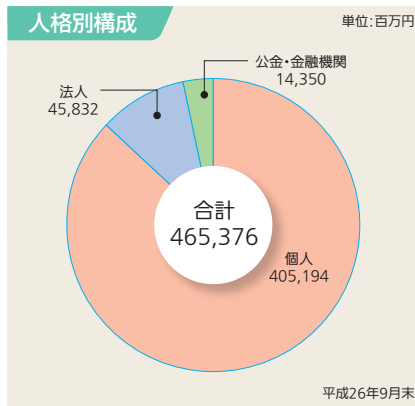
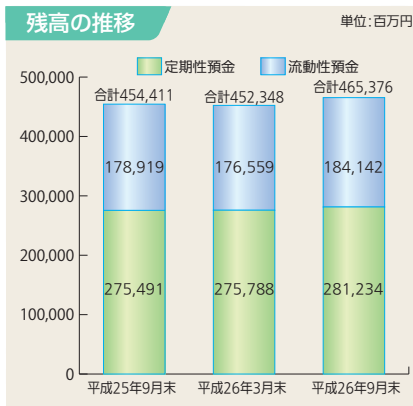


インターンシップ(大学生対象)

■預金積金の状況

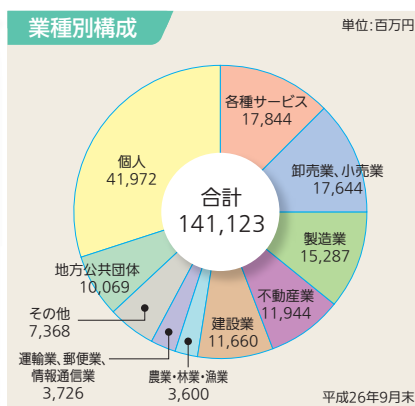
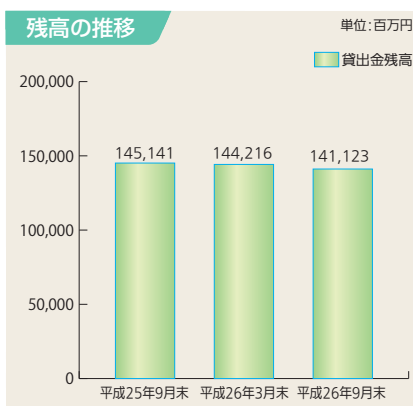
平成26年度上期は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開しました。その結果、26年9月末の預金積金残高は、前年度末比13,028百万円増加し、465,376百万円となりました。

お預かりしているご預金は、地域のお客さまからの当金庫への「信頼の証」と考えます。



■貸出金の状況

事業性融資については、設備資金の需要喚起に取組むとともに、信用保証協会保証付の制度融資を主体に推進し、個人性融資については、金利割引サービスを付加した住宅ローン・無担保住宅ローン・カーローンを中心に推進しましたが、設備資金の需要低迷などにより、26年9月末の貸出金残高は、前年度末比3,093百万円減少し、141,123百万円となりました。

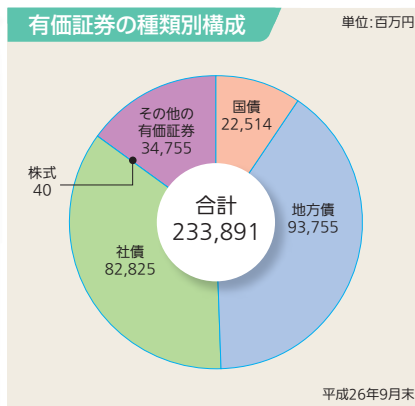
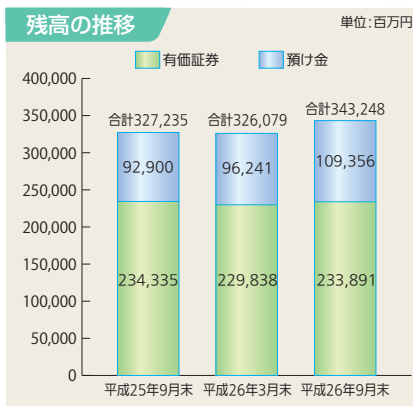


■有価証券および預け金の状況

お客さまからお預かりしたご預金は、ご融資(上記貸出金)のほか、有価証券などで運用しています。

26年9月末の有価証券残高は、前年度末比4,053百万円増加し、233,891百万円となりました。有価証券運用は、安定収益の確保を目的として国債・地方債・政保債・金融債を中心とした堅実なポートフォリオを形成し、運用を行っています。

預け金は、日本銀行、信金中央金庫などに預入しています。

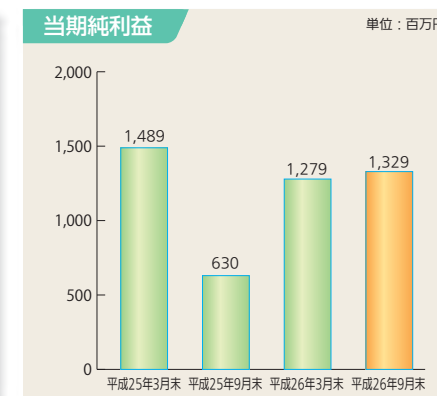
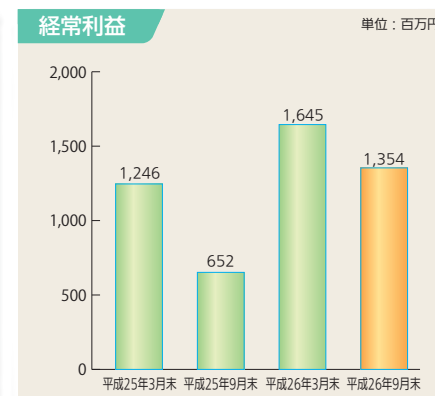
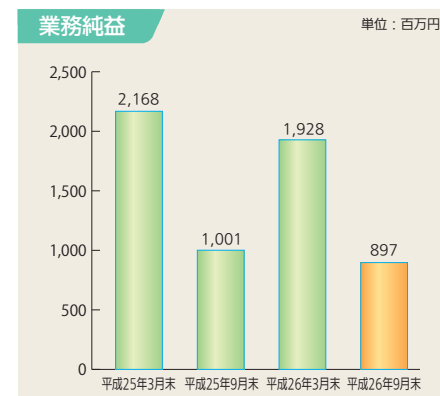


■損益の状況

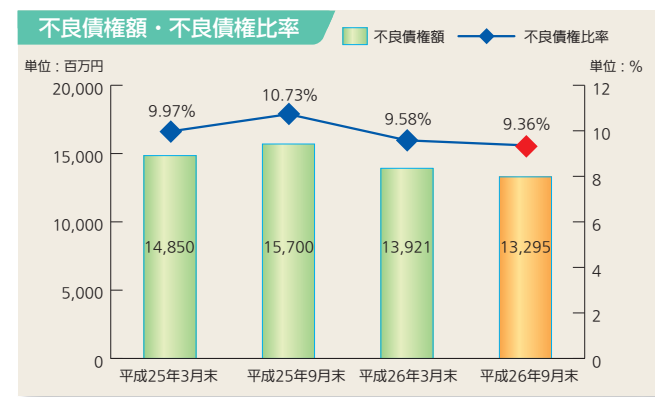
業務純益は、貸出金残高の減少・利回りの低下に伴う貸出金利息の減少などにより、前年同期比104百万円減少の897百万円となりました。

経常利益は、債務者の倒産等に伴う償却・個別貸倒引当金繰入

など臨時費用が前年同期比590百万円減少したことなどにより、同702百万円増加の1,354百万円となり、法人税等を控除した当期純利益は同699百万円増加の1,329百万円となりました。

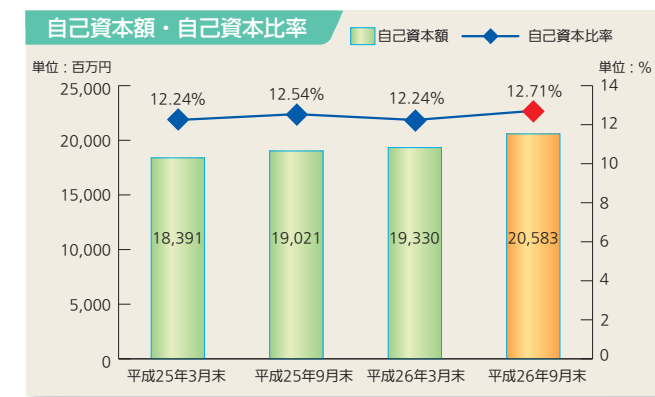


■不良債権の状況



毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて不良債権処理を進めるほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施しております。この結果、26年9月末の不良債権額は前年度末比626百万円減少の13,295百万円、不良債権比率は、前年度末比0.22ポイント低下の9.36%となりました。

■自己資本の状況



利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い自己資本の充実を図っております。この結果、26年9月末の自己資本額は前年度末比1,253百万円増加の20,583百万円となり、経営体力を示す自己資本比率は、前年度末比0.47ポイント増加の12.71%となりました。

財務諸表

■貸借の状況

科目	単位:百万円		
	平成25年9月末	平成26年9月末	増減額
(資産の部)			
現金	5,108	5,606	498
預け金	92,900	109,356	16,456
買入金銭債権	36	25	△ 11
金銭の信託	-	500	500
有価証券	234,335	233,891	△ 444
貸出金	145,141	141,123	△ 4,018
その他資産	2,467	2,885	418
有形固定資産	3,905	4,136	231
無形固定資産	133	144	11
繰延税金資産	1,228	649	△ 579
債務保証見返	763	614	△ 149
貸倒引当金	△ 4,480	△ 3,844	636
投資損失引当金	△ 18	△ 18	0
資産の部合計	481,521	495,070	13,549

(注) 優先出資(引)受先:信金中央中央庫)150億円のうち、21億円につきましては、平成24年7月9日に信金中央中央庫より買入し、同日に特別積立金(優先出資消却積立金)を取り崩しのうえ消却しました。ただし、「協同組織金融機関の優先出資に関する法律」に定める規定に従い「優先出資金」および「資本準備金」として表示しております。

■損益の内訳

科目	単位:百万円		
	平成25年9月末	平成26年9月末	増減額
業務粗利益			
資金利益	3,350	3,117	△ 233
貸出金利息	3,190	2,988	△ 202
有価証券利息配当金	1,731	1,634	△ 97
預け金利息	1,451	1,322	△ 129
資金調達費用	93	97	4
資金調達費用	△ 130	△ 109	21
役員取引等利益	123	111	△ 12
その他業務利益	36	18	△ 18
一般貸倒引当金繰入額	△ 74	63	137
経費	△ 2,273	△ 2,283	△ 10
業務純益	1,001	897	△ 104
コア業務純益	1,046	826	△ 220
臨時損益	△ 349	457	806
償却・個別貸倒引当金繰入額	△ 578	△ 2	576
貸倒引当金戻入益・償却債権取立益	219	309	90
経常利益	652	1,354	702
当期純利益	630	1,329	699

科目	単位:百万円		
	平成25年9月末	平成26年9月末	増減額
(負債の部)			
預金積金	454,411	465,376	10,965
借入金	4,717	5,060	343
その他負債	676	601	△ 75
賞与引当金	131	135	4
退職給付引当金	1,124	1,158	34
役員退職慰労引当金	11	15	4
その他の引当金	97	123	26
再評価に係る繰延税金負債	119	119	0
債務保証	763	614	△ 149
負債の部合計	462,053	473,205	11,152
(純資産の部)			
出資金	10,189	10,174	△ 15
普通出資金	2,689	2,674	△ 15
優先出資金(注)	7,500	7,500	0
資本剰余金	1,033	1,033	0
利益剰余金	6,657	8,429	1,772
処分未済持分	△ 1	0	1
会員勘定合計	17,880	19,636	1,756
評価・換算差額等合計	1,587	2,227	640
純資産の部合計	19,467	21,864	2,397
負債及び純資産の部合計	481,521	495,070	13,549

財産の状況

■自己資本の構成に関する事項

項目	単位:百万円、%	
	平成26年3月末	平成26年9月末
【自己資本】		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	18,312	19,636
うち、出資金及び資本剰余金の額	11,213	11,207
うち、利益剰余金の額	7,307	8,429
うち、外部流出予定額(△)	207	-
うち、上記以外に該当するものの額	△ 0	△ 0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,227	1,164
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	1,227	1,164
うち、適格引当金コア資本算入額	-	-
[コア資本に係る基礎項目の額](イ)	19,540	20,801
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	136	144
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	73	73
[コア資本に係る調整項目の額](ロ)	209	218
自己資本の額(ハ)=(イ)-(ロ)	19,330	20,583
【リスク・アセット等】		
信用リスク・アセットの額の合計額	143,871	147,911
資産(オン・バランス)項目	143,324	147,446
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 6,690	△ 6,689
オフ・バランス取引等項目	546	464
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0	0
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	13,933	13,933
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	157,805	161,845
自己資本比率(ハ)/(ニ)	12.24%	12.71%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき開示を行っています。なお、当金庫は国内基準を採用しています。

■自己資本の充実度に関する事項

	単位:百万円			
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額合計	143,871	5,754	147,911	5,916
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	150,561	6,022	154,601	6,184
(i) ソブリン向け	2,601	104	2,552	102
(ii) 金融機関向け	37,364	1,494	43,460	1,738
(iii) 法人等向け	41,774	1,670	43,957	1,758
(iv) 中小企業等・個人向け	28,971	1,158	28,792	1,151
(v) 抵当権付住宅ローン	4,632	185	4,483	179
(vi) 不動産取得等事業向け	8,758	350	8,552	342
(vii) 三月以上延滞等	1,148	45	913	36
(viii) 出資等	2,561	102	3,068	122
(ix) その他	22,748	909	18,820	752
②証券化エクスポージャー	-	-	-	-
③複数の資産を裏付けとする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	-	-	-	-
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-
⑤他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△ 6,690	△ 267	△ 6,689	△ 267
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	-	-	-	-
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	0	0	0	0
ロ. オペレーショナル・リスク	13,933	557	13,933	557
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	157,805	6,312	161,845	6,473

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)ならびにオフバランス取引および派生商品取引の与信相当額です。
 3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方住宅供給公社、地方道路公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会および漁業信用基金協会のことです。
 4. 「三月以上延滞等」とは、元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーおよび「ソブリン向け」、「金融機関向け」、「法人等向け」においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
 5. オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。
 <オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>
 粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15% ÷8%
 直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数
 6. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

■有価証券等の時価情報

【有価証券】

満期保有目的の債券で時価のあるもの

単位:百万円

区分	平成26年3月末					平成26年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち		貸借対照表計上額	時価	差額	うち	
				増	減				増	減
国債	11,579	11,818	238	238	-	11,070	11,439	368	368	-
地方債	96,811	100,403	3,592	3,592	-	89,328	93,042	3,713	3,713	-
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	37,268	38,164	895	954	58	33,502	34,354	851	865	13
その他	7,043	7,163	119	154	34	8,241	8,431	190	192	2
合計	152,702	157,549	4,846	4,940	93	142,143	147,267	5,124	5,140	15

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。

その他有価証券で時価のあるもの

単位:百万円

区分	平成26年3月末					平成26年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち		取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち	
				増	減				増	減
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
債券	52,117	52,546	429	461	32	64,534	65,193	659	682	23
国債	9,354	9,570	215	215	-	11,114	11,443	329	329	0
地方債	192	193	0	0	-	4,390	4,427	36	37	0
短期社債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社債	42,570	42,783	212	245	32	49,029	49,322	293	315	22
その他	22,815	24,548	1,733	1,767	33	24,526	26,513	1,987	2,035	48
合計	74,932	77,095	2,162	2,228	65	89,060	91,707	2,646	2,718	72

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の貸借対照表計上額 単位:百万円

	平成26年3月末	平成26年9月末
その他有価証券の非上場株式	40	40
その他有価証券のその他の証券	4	8

売買目的有価証券 … 該当ありません。

子会社・子法人等株式および関連法人株式 … 該当ありません。

【金銭の信託】

満期保有目的の金銭の信託 単位:百万円

	平成26年3月末	平成26年9月末
貸借対照表計上額	500	500
当期の損益に含まれた評価差額	-	-

運用目的の金銭の信託・その他の金銭の信託 … 該当ありません。

■金融再生法に基づく開示債権

単位:百万円

	平成26年3月末	平成26年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,987	1,571
危険債権	9,786	9,651
要管理債権	2,147	2,072
不良債権 (A)	13,921	13,295
正常債権	131,295	128,704
総与信残高	145,217	141,999
担保・保証	8,117	7,334
貸倒引当金	3,092	3,081
保全額 (B)	11,210	10,415
保全率 B/A	80.52%	78.34%
未保全額 (A-B)	2,711	2,880

■金利リスクに関する事項

単位:百万円

区分	資産		負債	
	平成26年3月末	平成26年9月末	平成26年3月末	平成26年9月末
貸出金	2,231	2,193	要求性預金	2,291
有価証券	8,881	9,714	(うちコア預金)	(2,184)
預け金	1,040	1,224	定期性預金	2,487
その他	0	1	その他	54
合計	12,153	13,132	合計	4,831
銀行勘定の金利リスク	7,321	8,097		5,034

(注) 1. 銀行勘定の金利リスクは、金利ショックによって発生する現在価値(時価)変動額の資産と負債のギャップを見るものです。当金庫では、金利が一律1%上昇した場合を想定して、銀行勘定の金利リスクを算出しています。
2. 要求性預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出しされることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、要求払預金(普通預金、当座預金等)残高の50%相当額を金利更改期間を最長5年以内、かつ平均期間2.5年以内に振り分けてリスク量を算出しています。
3. 銀行勘定の金利リスクは、資産の金利リスク量と負債の金利リスク量を差し引いて算出しています。
銀行勘定の金利リスク(8,097百万円)＝資産の金利リスク量(13,132百万円)－負債の金利リスク量(5,034百万円)
なお、金利上昇幅について過去5年間の99%タイル値を想定して計測した場合の銀行勘定の金利リスクは、1,561百万円となっています。

■八日市場支店 12月8日新築移転オープン

平成26年12月8日、八日市場支店(千葉県匝瑳市)を新築移転します。
新しい八日市場支店は、太陽光発電システムの設置など環境に配慮した店舗設計とし、さらに非常用発電装置も備え、万が一の災害時にも金融サービスを継続してご提供できることをコンセプトとしています。

また、店内はゆったりとしたロビーと落ち着いた相談スペースで、地域のみなさまにお気軽にご来店いただける店舗となっています。

ますます便利になります! /

夜9時まで
平日のATM稼働時間延長
平日終了時間：午後9時

貸金庫 自動式
自動式貸金庫を設置(稼働時間延長)
利用時間:平日午前9時～午後5時



※電話番号は移転前と変更ありません

■大多喜支店 外装リニューアル

大多喜町は大多喜城を有する「房総の城下町」です。町ではその貴重な歴史文化資源の保存に取り組んでいます。大多喜支店では、その歴史的景観事業に協力し、「地元大多喜の街並みに溶け込んだ店舗」をコンセプトに外装改修工事を行い、正面玄関は瓦庇に江戸文字の看板、入口には“のれん”を配した和風の外観へと装いを新たにしました。

スロープも設置してご高齢の方やお身体の不自由な方にも優しい店舗です。



■今いる場所がちょうしんきん スマホもOK!

ネットでローン申込み
無担保・保証人不要・スピード回答



インターネットバンキング
個人向けサービス



残高照会	入金明細照会	取引履歴照会	定期預金
お振込	振込予約取消	税金・各種料金の払込みPay-easy	Eメール通知サービス